

第3学年 1組 学級活動指導案

1. 日時 場所 平成 24年 6月 20日 (水) 13時 35分 ~ 多目的ホール
2. 議題 夏いっぱい集会ですることを決めよう!」
3. 議題について

何事に対してもやってみたい!」と意欲的で、友だちに対してもかかわりをもととする児童が多い。

男子 12名女子 22名と人数的には偏りがあるが、スターから2か月が過ぎ、それぞれの個性を發揮し、毎日何らかのトラブルを抱えながらも元気に生活している。1年の最後に「このクラスでよかった!」と所属感を感じられるよう一人一人を認め、さまざまな望ましい集団活動を通して、よりよい人間関係を築いていきたい。

係活動を決める際、係のアイデアが30を超えるなど柔軟な考えをもち、発言できたことに驚いた。当番的な内容も多かったが、出されたアイデアを認めることで、活動を創意工夫してほしいと考えている。決定した係ごとに計画を立て、アンケートをしたり新聞を作ったりして活発に取り組んでいる。

学級目標は全員の「こんなクラスにしたい!」という思いをまとめ、「さんいち おもち いいきもち」に決まった。思いやりの気持ちで、力を合わせながら取り組み、みんながよい気持ちになれるクラスづくりを目指したい。

さんいち (3 - 1)
 おもち おもいやり
 ちからをあわせて
 いいきもち

4月の第1回の学級会の前に「よりよい意見」とは何かを全員で確認した。なかよくできる意見、みんながなっとくできる意見、みんなのよいところを合わせた意見などが挙がった。1年間「よりよい意見」を掲示することで常に子どもたちに意識させるようにしたい。また、学級会の意義を「思いやりの心で力を合わせて話し合い、決定すること」と伝え、多数決は、意見を出し尽くした後の最後の手段であることも確認した。

今年度新たな試みとして、毎回様々な種類の活動に取り組んでほしいと思い、集会活動のおおまかな年間計画を児童に伝え、年間の見通しをもって取り組んでいる。内容を決定する際の大まかな条件として、「いろいろな種類の活動にする、季節感のある内容にする」ことを伝えて学級会に臨んでいる。今までの集会の内容は第1回が室内、第2回が屋外での集会という条件を決めて話し合った。2回とも自分たちで決めた活動を楽しんで取り組むことができていた。

春の集会の話合いをしている際に、すでに何人かの児童が述べていた「夏の集会も早くやりたい!」という思いを議題ポストに提案したことからこの議題が始まった。「夏いっぱい集会ですることを決めよう!」では、児童が「夏」からどのような内容を考えるかが楽しみである。全員で行うゲームなどにいかに夏を盛り込めるのか期待したい。児童のイメージを広げるために「夏で思い浮かべることは?」ということ全員で出し合ってから話合いに臨みたいと考えている。また、学級目標である「思いやり 力を合わせて」に関連した発言が少しでも出されるとうれしい。本時では出された意見を短冊(パウチし、マーカーで書いたり消したりすることができるもの)に記入し、意見を整理分類しやすいようにして話合いを進めていきたい。

3年 1組 集会活動年間計画(案)

月 日	条件など	決定事項
4月	室内での集会	・ステレオゲーム ・いすとりゲーム
6月	春の集会 (屋外での集会)	・キックベース(チーム名を春にする) ・Sケン(宝を春の花などにする)
7月頃	夏いっぱい集会	
10月頃	秋の集会	
12月頃	冬の集会	
3月	クラスお別れ集会	

4. 研究テーマとのかかわり

「優しく強い心をはぐくむ特別活動」
 ~ お互いを認め合い、協力して取り組む子どもたちをめざして ~

(1) 中学年のめざす子ども像

楽しい学級生活をつくるために、協力し合って意欲的に取り組む子

(2) テーマに迫るための手立て

人は人とのかかわりの中で育ち、学校においても様々なかかわりの中で生活している。学校で学ぶ意義の一つには、他者とのかかわりを通して自らを高めていくことにあると思う。学級活動の活動内容(1)では、みんなで決めたことを協力して準備・実践することを通して力を合わせて取り組む楽しさを感じてほしい。

私は児童に優しく強い人になってほしいと考えている。私が考える優しさとは、いつも他者の気持ちを考え、「どうぞ」という思いやりと心と「ありがとう」という感謝の心である。それらの心をはぐくむ手立ての一つとして、帰りの会で「今日のおもちゃん」として友だちに感謝の気持ちなどを伝える時間を作っている。私がこまっていた時に助けてくれました」泣いていたら心配してはげましてくれました」など、発言が続くことが多い。児童が認め合うことはもちろん、様々な機会でも一人一人の児童のよさを認め、励ますことを通して、他者の気持ちを考えられる思いやりと感謝の心をはぐくんでいきたい。次に強さであるが、課題を自ら見つけ、考え、決定し、実践し、自分で責任をとることだと考えている。人の生活は自己決定の連続である。さまざまな課題や困難に直面した時や失敗した時に、他者の意見に謙虚に耳を傾けながらも、自分で自分の人生を切り開いていける強さを身につけてほしい。失敗したときには励ますなどしっかりフォローして、次のチャレンジに意欲が向かうようにしたい。

優しく強い心をはぐくむために、中学年の目指す子ども像である「協力し合って意欲的に取り組む」姿と、そのための教師の手立てを以下のように考えた。

	協力し合って意欲的に取り組む姿	教師の支援
話し合い活動 (学級会)	<ul style="list-style-type: none"> ・議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している ・よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめよう話し合っている。 ・決定したことや自他の役割を考え、協力し合って実践している。 ・次の活動に生かせるような振り返りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい意見にまとめるために大切なことは何かを話し合う機会をつくる。 ・集団決定する際の方法を確認する。 (互いに歩み寄り、よい意見を合わせる多数決は最後の手段にする) ・話し合いの後によかったことなどを認める。
係活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学級生活の向上に役立つ活動を考え、創意工夫して計画的に取り組んでいる。 ・自分のよさを生かせる係に所属し、継続して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な係の活動をあらゆる機会に認める。 ・可能な限り係活動の時間を確保し、画用紙、マジックなどを使えるようにする。
集会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決定したことについて役割を分担して準備や計画をしている。 ・自分や友だちの役割に配慮しながら、集会に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさを生かした役割分担のアドバイスをする。 ・協力できない児童に声をかける。協力している点を認める。
日常	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会「今日のおもちゃん」で友だちへの感謝の気持ちなどを伝えている。 ・さまざまな学習機会に教え合っている。 ・協力して給食、掃除当番などに取り組んでいる。 ・うさぎの世話を役割分担し、協力して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを伝えていることがすばらしいことであると伝える。 ・自分の役割を果たすだけでなく、「何か自分にできることはないか」と考え、行動する大切さを伝える。

5. 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
自己の生活上の問題に関心を持ち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価()と支援()
6/13 帰りの会	話し合いたいことを議題ポストに提案する。	学級全体にかかわる問題に気付いたり、関心をもったりしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) 議題ポストを設置し、子どもたちの思いを採り上げていくようにする。
6/14 休み時間	計画委員会を開き、役割分担をし、学級会の進め方を考え、準備する。 議題の選定(議題ポストより) 当日の役割の確認 進行司会(1) 指名司会(1) 黒板記録(2) ノート記録(1) 計画委員会カード(活動計画書)を書く 伝える内容の確認 議題 考えてほしいこと	学級会の準備の仕方など、進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) 司会、記録などの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにしていく
6/15 朝の会	議題を伝える(同会グループ)	決定した議題や内容を分かりやすく伝えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
	話し合いのめあてを決める 「おもち」の話し合いで、夏らしい集会にしよう	学級目標を意識しながら話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) 学級目標の達成に向けためあてを考えるように伝える。
6/18 朝の会	「夏」から思い浮かぶことを出し合う	ウェビング等の形式で、思い浮かんだことをどんどん出し合えるようにする
6/18 帰りの会	学級会カードに自分の考えを書く	自分の考えを学級会カードに書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2)本時の活動

ねらい

みんなが納得するような夏いっぱい集会の内容に決める。

本時の視点

めあてに合ったような内容を出し合い、決定することができるか。

ふいかえりタイムで友だちのよい点を認めることができるか。

展開

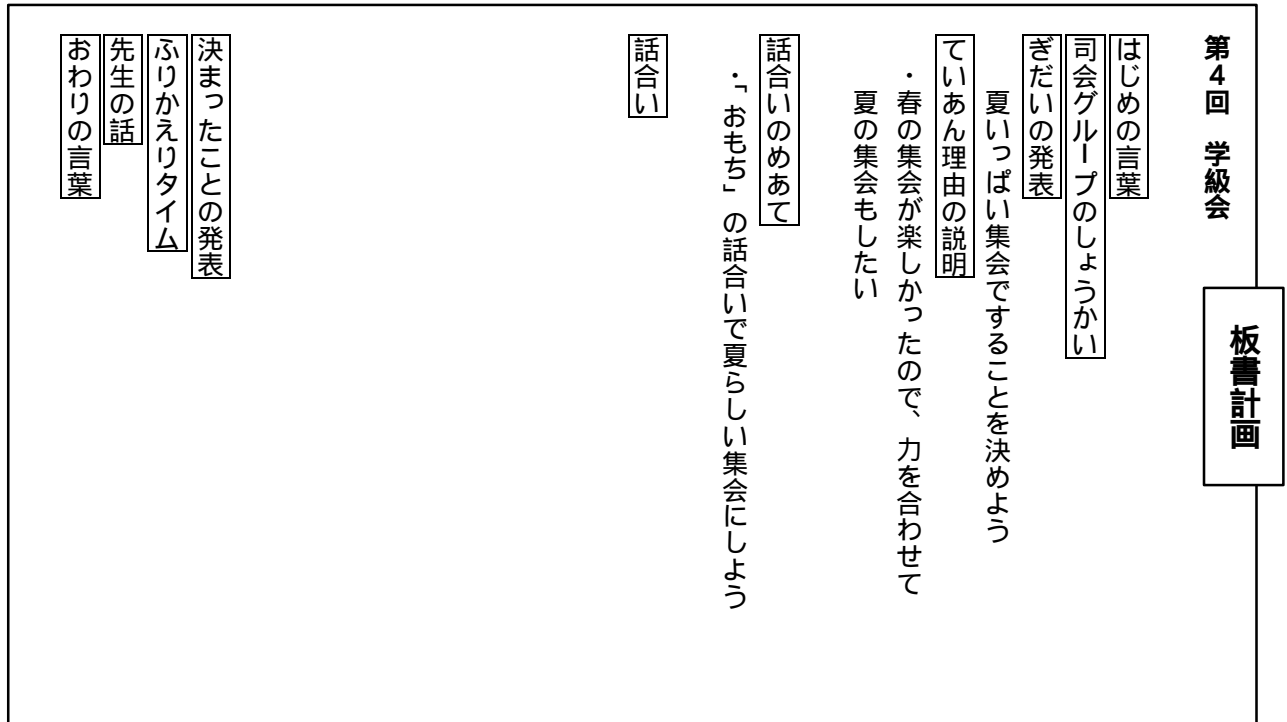
児童の活動	評価()と支援()
1 はじめのことば (進行司会) 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 (進行司会) 4 提案理由の紹介 (提案者) 5 話合いのめあての確認 (進行司会) 6 話合い 夏いっぱい集会であることを決めよう」 7 決まったことの確認 (ノート記録) 8 ふいかえりタイム 今日の「ここにこさん！」 9 先生の話 10 終わりの言葉 (進行司会)	司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) 話合いの進め方などでつまづいた時には助言する。 友だちの思いを考えて意見を聞き、よりよい意見を考え発言している。 (集団の一員としての思考・判断・実践) 短冊を活用し、出された意見を整理分類できるようにする 友だちのよかった点を理由とともに発言するように伝える。 よかった内容の数だけ『ここにこさんの木』にシールをはる。 力を合わせて………しっか「発言した児童など 思いやり………友だちの気持ちやクラス全体のことを 考えた発言や態度 など 終末の助言を行う 話合いにおける子どものよさをできるだけ具体的に話すことで、次の話合いにつながるようにする。

(3)事後の活動

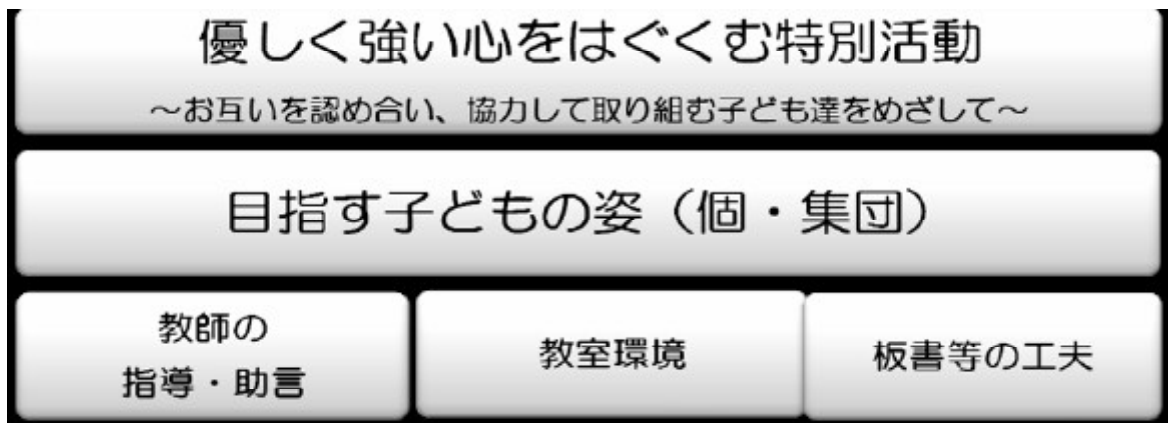
活動の場	活動内容	評価()と支援()
休み時間 など	集会の準備をする	みんなで協力し合って、集会の準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
学級活動	夏いっぱい集会を行う	みんなで協力し合って、集会に取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

7. 資料

～板書計画～



～研究テーマと研究の柱～



= 学きゅう会 けいかくいいん会カード =



日時	平成24年 6月20日 (水) 5 時間目		
議題	夏いっぱい集会ですることを きめよう		
ていあん理由	春の集会が楽しかったのでかを合わせて夏の集会もしたい		
話し合いのめあて	おもちの話し合いで夏らしい集会にしよう		
役わりぶんたん	しんこう司会	しめい司会	黒はん記ろく しー ノート記ろく
話し合いのながれ	時間	気をつけること	
1 はじめの言葉 2 司会グループのしょうかい 3 議題のかくにん 4 ていあん理由のせつめい 5 話し合いのめあてのかくにん		◆名前とやくわり、かんぱりしたいことを伝える ◆ていあん理由と話し合いのめあてをはっきりと伝える	
6 話し合い		◆①いけんを <u>あ</u> つめる ・たくさんの人に発言してもらう ・できるだけ理由も発言してもらう ◎はつけん→さんせい・ほんたい(にこちん)をはる ◎理由→おもちに書く ◆②いけんを <u>く</u> らべる ◆③いけんを <u>ま</u> とめる ・みんながなっとくするように決める ・多数決はさいごめしたん ◆ノート記ろくがかくにんする	
7 決まったことのかくにん			
8 みとめあいタイム 「きょうのにこにこさん！」		◆理由もはつけんしてもらう	
9 先生の話 10 終わりの言葉			

